

# ジャパンマイコンカーラリー全国大会2016全国大会 結果報告



「いまこそ 北海道」

榎君は16位、増田君は順位が付きませんでしたがお二人の健闘に拍手でたたえたいと思います。榎君、増田君、引率の田中先生お疲れ様でした。そして、会場で応援を頂きました会員の皆様、会場には来られないものの応援頂きました会員の皆様大変有難う御座いました。

平成28年1月10日(日)東京八王子市の日本工学院八王子専門学校(八王子キャンパス)体育館で開催された、公益社団法人全国工業高等学校長教会主催のジャパンマイコンカーラリー2016全国大会の結果を以下にご報告いたします。

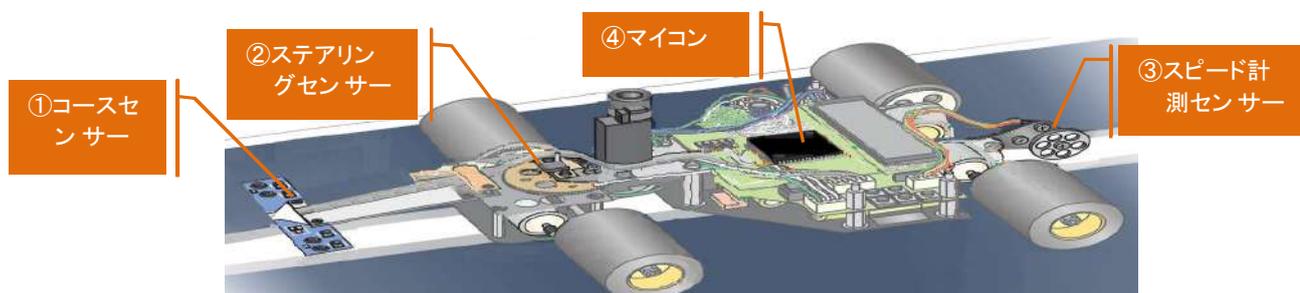
競技はAdvanced ClassとBasic Classの2クラスに分かれており、2台並走のタイムレースとし、各々2回の走行のベストタイムによる予選と成績上位による決勝トーナメント(Advanced Class 8台、Basic Class 4台)によって行われました。本大会には80校が出場しましたが、両クラスに出場の学校は20校であることから苦工の層の厚さが伺われるのではないのでしょうか。

Advanced Class 榎 勇人君(情報技術科3年)カーネーム「いまこそ 北海道」ゼッケン赤3番  
 59台のマシンで争われ、榎君は2回とも16秒62のタイムで完走し16位でした。(参考:予選1位のタイム14秒94)このクラスの予選順位40台中2回とも完走したマシンは18台であり、榎君は16秒台の完走とは言え信頼度は高く評価されるのと思われます。

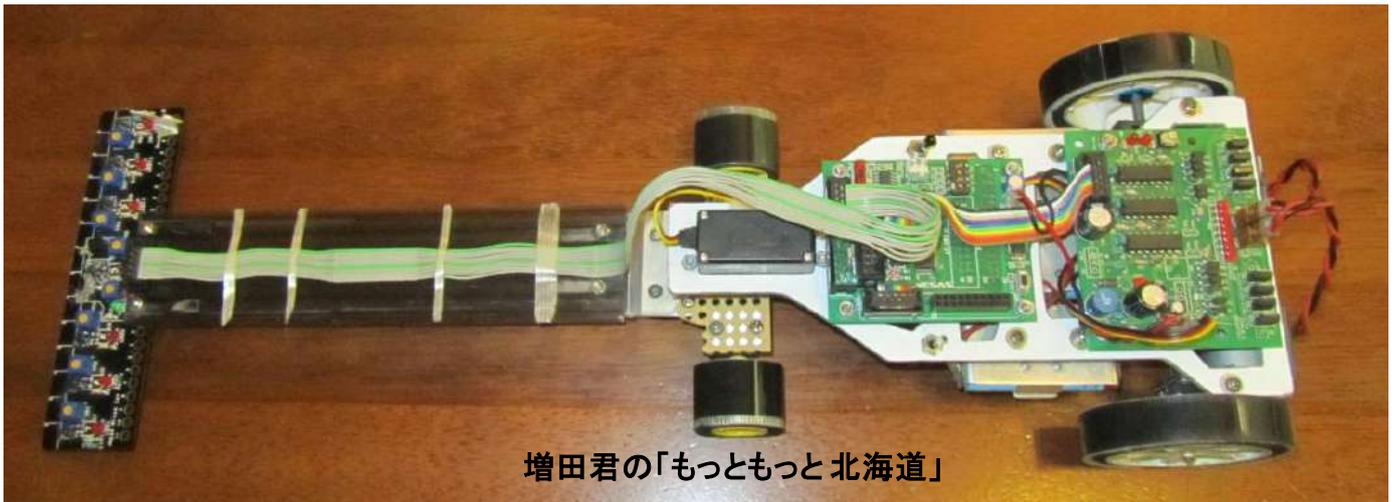
Basic Class 増田 幹君(電子機械科1年)カーネーム「もっともっと 北海道」ゼッケン青24番  
 47台のマシンで争われ、増田君は健闘したものの残念ながら2回ともコースアウトし完走に至らず、順位は付きませんでした。

## 【マイコンカーのまめ知識】

- ①マシン先端のコースセンサーでコース中央の白線を検出し情報をマイコンに送ります。
- ②ステアリングセンサーで角度を検出し情報をマイコンに送ります。
- ③マシン後部のスピード計測センサーで速度を検出し、速さ、走行距離情報をマイコンに送ります。
- ④マシン中央に搭載のマイコンで①～③までの情報から現在の車体の状態を把握します。
- ⑤マイコンからの情報により、走行用モータ、ステアリングモータを制御します。



🚗 マシンと榎君、増田君、田中先生を写真でご紹介いたします



コースを案内いたします



Basic Class 増田君1回戦レース開始



2コース増田君「完走しますように」



「もっともっと北海道」スタート この後惜しくもコースアウト

増田君2回戦に向け作戦中



右増田君 左は槇君



槇先輩と何やら協議中

増田君2回戦レース開始



「もっともっと北海道」1コースからスタート



スタート直後のクランクで惜しくもコースアウト

Advanced Class 榎君1回戦レース開始



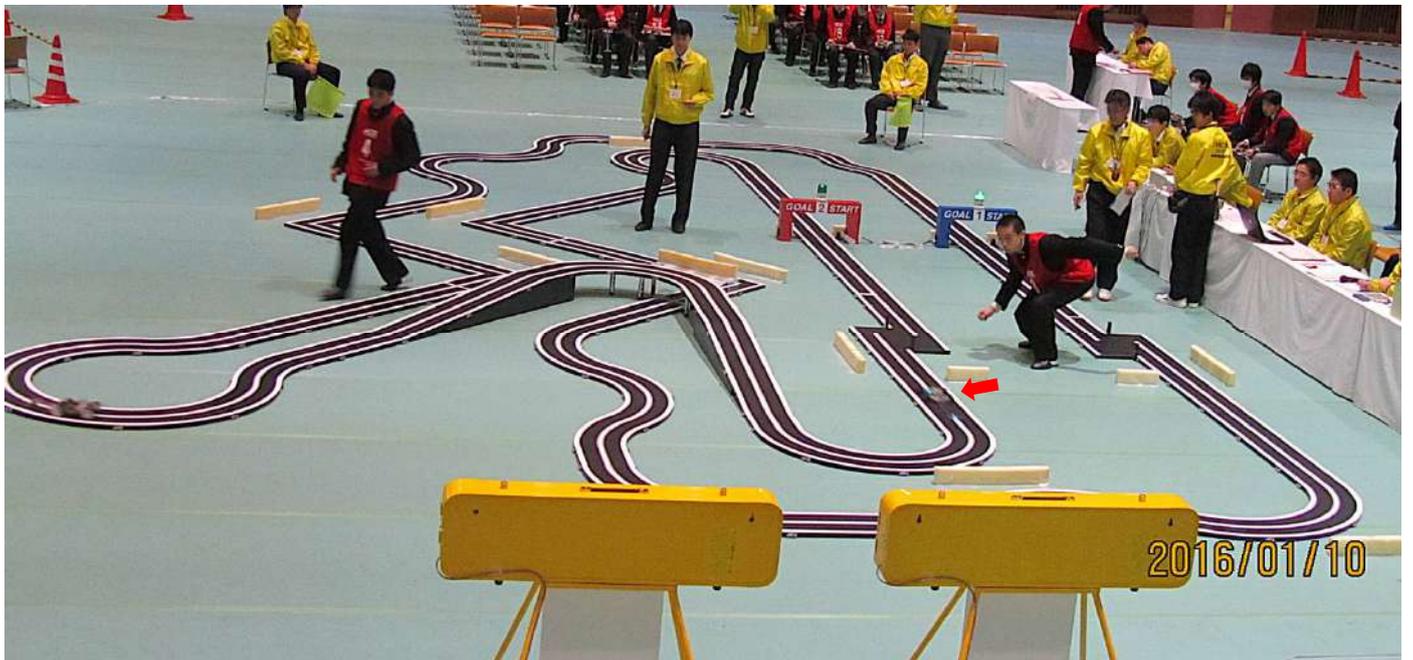
右前列から2人目榎君試合に向け待機中



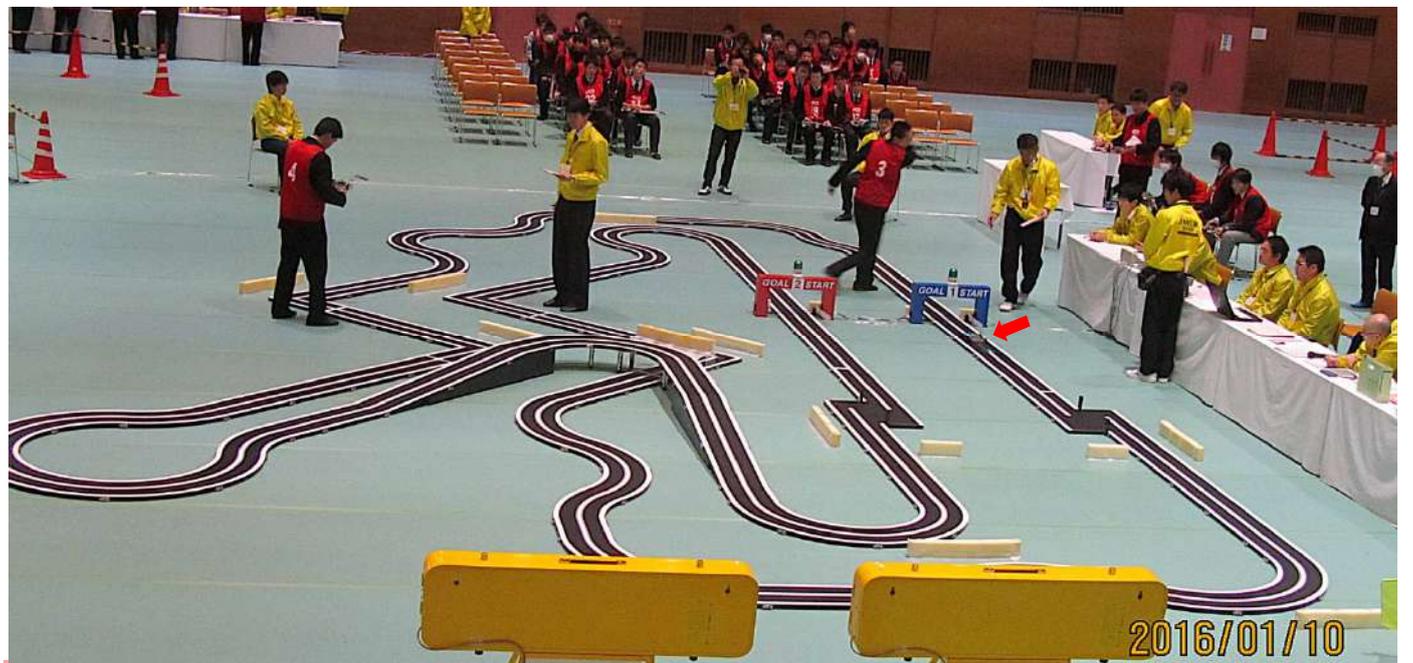
1コース榎君「完走しますように」



「いまこそ北海道」スタート直後のクランクを無事通過「ヨ～シ」



コース変更後のクランクも見事に突破 快調に走行中



ゴール 見事に完走「ヤッタ〜」 タイム0:16:62



応援有難う御座います



左から 石堂会長・田中先生・瀧野さん・櫻井幹事・高野さん・川上元会長



左から 櫻井幹事・伊東前監査役・高野さん・坂本前会長・川上元会長

 榎君2回戦レース開始



「いまこそ北海道」2コースからスタートし坂を下り、急カーブを難なく通過し快走中



難コースを見事突破しゴール寸前 この後1回戦と同タイムの0:16:62でゴール

 応援有難う御座います



三橋副幹事長



熊倉さん



岡山さんお食事中失礼いたします



試合終了後会場玄関  
で記念撮影



右側: 田中先生  
中央: 榎君  
ゼッケン赤3番  
左側: 増田君  
ゼッケン青24番



全員で記念写真を撮りました

後列左から 高野(工化s38年)・岡山(機械s35年)・伊東前監査役(機械s36年)・佐々木(機械s45年)  
中央左から 瀧野(電気s36年)・川上元会長(工化s28年)・石堂会長(土木s39年)・坂本前会長(電気s31年)・三橋副幹  
事長(工化s41年)・熊倉(電気s43年)  
前列左から 吉田幹事長(電気s39年)・櫻井幹事(通信s38年)・増田君(電子機械科1年)・榎君(情報技術科3年)・田中  
先生・駒米副会長(電気s36年)

マイコンカーラリーを初めてみましたが、コースの設定を見てびっくりしました。直角のクランク、走行レーン変更などどうしてこんなコースを走れるのか不思議でした。鼻先が長いことで理解出来ました。このスピードで先を予測してモータやステアリングを微細に制御しながら、完走とタイムを競うという凄い競技でした。

増田君は残念でしたが、榎君は2走とも好タイムで完走、「ヨシやったー」榎君のリアクションと一緒に関東六華会応援団13名の大声援も会場に轟きました。

榎君は4月から社会人1年生健康に気を付け頑張ってください。増田君、また来年も来てくれるのを楽しみにしています。